

あおぎり

9月11日(水)校長講話の内容



蔵の街並み

この写真を見てください。(13枚映す)校門・校庭・校舎、通学路(西・東各入口)、須坂駅、交番、蔵のある道です。

すべてが、森上小学校区にあります。皆さんが勉強や生活をしたり、遊んだり、利用したり、通ったりしているところです。

写真を見て、どんなことを感じましたか。「遊んでいるところだ」「電車に乗ったところだ」「毎日通っている所だ」と言ったことを感じたことと思います。

でも、「懐かしいな」と思った人はいないと思います。懐かしいなと感じないのは、今皆さんが生活している所だからです。

次の写真は、校長先生の小学校時代の写真です。(5枚映す。右の1枚は、私の入学した日の写真です。)

皆さんに胸を張って、「小学校時代は、よく遊び、よく勉強しました」と言いたいのですが、「小学校時代は、よく遊び、よく遊び」でした。6年間、とにかく学校でも家でも、友だちと遊ぶことが大好きでした。学校は一日も休まずに行きました。

6年間が終わり、卒業していく日、「ああ、もうこの小学校で勉強や生活ができないんだ」と思ったとき、とても寂しい気持ちになりました。それは6年間過ごした友だちや小学校、そしてお世話になった先生との別れの時だったからでした。

卒業して、4年がたった高校1年生の時に、同級会で小学校を訪ねた時に、小学校の各教室・校庭・体育館、先生や友達と遊んだことが思い出され、とても懐かしい思いになりました。

この時に、「小学校という勉強や生活をした場所・友だち・先生」を思ったとき、「『懐かしい』と感じる時なんだ」と思いました。そして、「これが『ふるさと』を思う心なんだ」と思いました。

私の学んだ小学校は統合してしまって、今は学校名も校舎もありません。

学校はなくなってしまいましたが、私が学んだ学校名や校舎、思い出は、心の中に今でも残っています。

皆さんが森上小学校を卒業し離れていった時や、大人になってこの須坂市を離れて生活したときに、懐かしく思うようになります。これが「ふるさと」への思いです。

皆さんは、森上小学校や地域で、人・もの・ことに大いにかかわり、心を豊かにし



小学校へ入学の日(右側)

てください。このすばらしい森上小学校や須坂の町を思う心を育て、将来この町の担い手となり、大いに活躍してほしいと思います。

この森上小学校、森上地区、須坂市はすばらしいところです。自信と誇りを持って勉強や生活をしていってください。

ふれあい参観日

9月21日(土) 地域の方を講師にお招きし、親子で参加をして、ふれあい体験学習が行われました。

本年度は、すてきな押し花、指あみ、ビーズ手芸、フラワー・アレンジメント、七宝焼き、粘土工作、布ぞうり、そば打ち体験、茶道、和太鼓に挑戦、凧作り、いすを作ろう、電子工作、理科実験、卓球、ゲートボール、ニュースポーツの17講座が開設されました。真剣な眼差しで活動に集中していました。感激や感動、歓声、笑顔で、すべての人が楽しむことができ、充実した半日を過ごすことができました。講師、保護者の皆様、ありがとうございました。



PTA 作業ありがとうございました

9月1日(日)のPTA作業へ、役員、委員、6学年児童・保護者、森上クラブの皆様にご参加をいただき、ありがとうございました。

校庭・校舎の周りの草刈り、砂場整備、カーテンの洗濯と取り付け、トイレ清掃をしていただきました。皆様のおかげで、とても良い環境となりました。子どもたちは、きれいにしていただいた環境の中で、学んでいます。

きめ細やかな指導を行っています

長野県では「信州こまやか教育プラン」事業を行っています。この事業により、3～6年で、31～35人学級の場合は、習熟度に差が生じやすい教科で、30人以下の学習集団を編成して指導する少人数学習指導教員が1名配置されています。塚原奈央先生が4・5・6年の算数の指導にあたっています。5・6年の算数は、2学級を3学級に分けて授業を行っています。4年の算数は、週1時間TTで授業を行っています。また、1～2年で、31～35人学級の場合は、学習習慣形成支援教員が1名配置されています。清野理恵先生が1年の指導にあたっています。

4～6年の子どもたちからは、「分かりやすい」「分からないときはすぐに聞ける」「丁寧に見てもらえる」「算数が好きになった」と言った声が聞かれます。1年生からは、「何でも聞ける」「困った時に助けてもらえる」「そばで指導してもらってうれしい」という声が聞かれ、安心して学習ができています。

きめ細やかな指導ができることで、子どもたちの力は伸びています。とてもありがたい事業です。